

教科名	地理歴史科		学年	2		教科書 補助教材 等	教科書：『世界史A』実況出版 『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店		
科目名	世界史A		単位数	2					
科目担当者	遠藤 大志								
科目の 到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合制と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培う。								
学期	月	指導内容	主な指導目標			予定時数	備考		
一 学 期	4	世界史を学ぶ意義と基礎知識	世界史学習の意義を理解し、歴史用語の使い方を学ぶ。			5			
	5	ユーラシアの諸文明と交流	地域によって異なる古代文明の特徴を理解する。			8			
	6	近代ヨーロッパ・アメリカ①	大航海時代以降の世界の一体化を理解する。			8			
	7	近代ヨーロッパ・アメリカ②	産業革命、市民革命を理解する。			3			
二 学 期	9	近代ヨーロッパ・アメリカ③	国民国家の形成を理解する。			8			
	10	近代ヨーロッパ・アメリカ④	帝国主義の特徴を理解する。			8			
	11	アジア・アフリカ・アメリカ・太平洋地域の変動	帝国主義列強による世界の分割化を理解する。			8			
	12	19世紀のヨーロッパ文化	現代文化につながることを理解する。			4			
三 学 期	1	第一次世界大戦とロシア革命	帝国主義国間の争いとしての第一次世界大戦を理解し、社会主義革命成立の意義を考える。			6			
	2	第二次世界大戦と戦後世界	戦後世界は、第二次世界大戦の経験をもとに成立してきたことを理解する。			8			
	3	持続可能な世界をめざして	人類の今後の課題を考察する。			3			
年間授業 時間数計	70		1学期	24	2学期	28	3学期	18	
学習上の留意点	各内容において興味関心を引き出し、考える態度を養い、基本的な事柄を理解させるようにする								
評価の観点						評価方法			
関心・意欲・態度	歴史への関心をもち、現代社会との関わりについて考察し探究しようとする。					授業にしっかり取り組み、考える態度を身につけ、内容を理解することが出来たかどうかを主として考查の成績で判断する。			
思考・判断・表現	資料・地図なども用いて歴史的な思考力を高めることができるか								
技能	歴史事象を客観的にとらえ、問題意識をもって、批判的思考力ができるか。								
知識・理解	世界史学習を通して、有為ある人間として現代社会を生きていく基礎的知識を持つことができたか。								